

大磯町

OISO

内水ハザードマップ

マップの活用方法

1 自宅の位置を確認しましょう。

自分が住んでいる位置を確認し、自宅の位置に印を付けましょう。

2 自宅周辺の危険性を確認しましょう。

自宅周辺の災害リスク(浸水想定区域)を確認しましょう。

3 災害発生時の避難経路や避難先を調べましょう。

ハザードマップや避難行動判定フローを確認し、最寄りの避難所や安全な避難経路を考えましょう。

4 実際に避難先まで歩いてみましょう。

ハザードマップを持って避難経路を歩き、経路の安全性や避難先の場所、避難にかかる時間を確認しましょう。

5 防災や避難行動について話し合いまししょう。

「日頃からの心得・準備」、「防災気象情報」、「情報収集」などのページを確認し、防災や避難行動について家族やご近所でも話し合い情報を共有し、災害に備えましょう。

大磯町土砂災害・洪水ハザードマップも活用しましょう。

大磯町土砂災害・洪水ハザードマップは、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域及び河川の氾濫による浸水想定区域が示されています。内水氾濫時の避難行動とともに洪水時の避難もあわせて確認しておきましょう。

大磯町

内水氾濫とは

内水氾濫とは、下水道などの排水能力を上回り、または河川水位の上昇により下水道から河川などへ排水できず、下水道などから浸水することを行います。

内水氾濫と外水氾濫

河川に排水しきれずに発生する内水氾濫と違い、河川の氾濫により発生する浸水は外水氾濫といえます。

内水氾濫

外水氾濫

内水氾濫による被害例

想定外雨量・河川からの逆流・雨水排水能力不足による冠水

側溝や雨水ますにごみや落ち葉が詰まることによる冠水

内水氾濫時の注意箇所

●アンダーパス
鉄道の高架下など、周辺より地面が低くなっているところは、雨水が集中するため冠水のリスクが高くなります。

●地下道
道路にあふれた水が地下道に流入すると、避難が困難になるおそれがあります。

●地下室・半地下室
地下室では外の様子が見られません。水が建物の地下に流入するスピードは非常に早く、小さな地下室ほど短時間で浸水します。

扉の外側に深さ数十cm程度の水が溜まると、水圧で扉を開放できなくなるおそれがあります。

雨の強さと降り方の目安

1時間の雨量(mm) 予 報 用 語 雨の降り方、災害発生状況

10~20 やや強い雨 ザーザーと降り、話し声がよく聞こえない。雨が長く続く時は注意が必要。

20~30 強い雨 どしゃ降り。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模なげけ崩れが始まる。

30~50 激しい雨 バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。がけ崩れが起きやすくなり、都市では下水管から雨水があふれる。

50~80 非常に激しい雨 滝のように降り、マンホールから水が噴出する。

80以上 猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。大規模な災害が発生するおそれ強く、嚴重な注意が必要。

防災気象情報

警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル 避難情報 住民がとるべき行動 河川氾濫(相模川※) 大雨 土砂災害 高潮

5 相当 緊急安全確保 命の危険直ちに安全確保! レベル5 氾濫特別警報 レベル5 大雨特別警報 レベル5 土砂災害特別警報 レベル5 高潮特別警報

4 相当 避難指示 危険な場所から全員避難 レベル4 氾濫危険警報 レベル4 大雨危険警報 レベル4 土砂災害危険警報 レベル4 高潮危険警報

3 相当 高齢者等避難 避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など レベル3 氾濫警報 レベル3 大雨警報 レベル3 土砂災害警報 レベル3 高潮警報

2 相当 — 避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど) レベル2 氾濫注意報 レベル2 大雨注意報 レベル2 土砂災害注意報 レベル2 高潮注意報

1 相当 — 災害への心構えを高める 早期注意情報

※相模川以外の河川の氾濫や浸水の情報は「大雨に関する情報」として取り扱われます。

マイ・タイムライン(台風・大雨)

大磯町土砂災害・洪水ハザードマップとあわせて確認!

大磯町 家の避難行動計画 作成日: 年 月 日

避難先候補1 移動時間 避難先候補2 移動時間 避難に支援が必要な人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)が いる → 高齢者等避難 の発令で避難! いない → 避難指示 の発令で避難! ペットは? いる いない

台風・大雨 自宅の災害リスクチェック 洪水 mの浸水 高潮 mの浸水 内水 mの浸水 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域 ※洪水・土砂災害に關しては、「大磯町土砂災害・洪水ハザードマップ」を参照してください。

時間 想定 気象・避難情報 マイ・タイムライン 記入欄 時期

0 時間 災害発生又は切迫 警戒レベル5 緊急安全確保 身の安全を確保する 電話やスマートフォンで緊急速報メールを受信

3 時間前 災害おそれ 警戒レベル4 避難指示 町内の指定避難所など安全な場所への避難を完了 自宅内の浸水が想定されない場所での身の安全を確保 電話やスマートフォンで避難指示・緊急速報メールを受信 テレビ、インターネット、ラジオ等で高潮・洪水情報の確認 潮位・川の水位をインターネットで確認

5 時間前 災害おそれ 警戒レベル3 高齢者等避難 安全な場所への避難完了 町内の指定避難所などの安全な場所への避難の開始を判断 高齢者等は、町内の指定避難所への避難の開始を判断 携帯メール等で避難準備情報の受信 隣町への避難の開始を判断 テレビで高潮・洪水情報の確認 潮位・川の水位をインターネットで確認

半日前 大雨となる 氾濫注意報発表 交通情報や潮位・川の水位をインターネットで確認 親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ハザードマップで避難場所、避難手段、避難経路を確認 避難しやすい服装に着替える ペットをケージに入れて避難の準備

1 日前 気象状況悪化 警戒レベル2 大雨・土砂災害・高潮注意報 テレビ、ラジオやインターネット等で気象状況や潮位・川の水位の状況を確認 携帯電話やスマートフォン、予備バッテリーの充電

2 日前 警戒レベルの可能性 家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 1週間分の薬を病院に受け取りに行く 防災グッズや食料などの準備(不足があれば買い出しへ) わが家の行動計画を確認 最新の天気予報を確認 ペット用非常持ち出し袋やケージの確認

3 日前 今後の気象状況おそれ 台風や大雨の予報 警戒レベル1 早期注意情報

わが家の防災メモ

避難(集合)場所 避難所 緊急連絡先(親戚・知人等)

家族の連絡先 名前 生年月日 血液型 会社・学校等の住所 電話番号

親類知人の連絡先 名前 住所 電話番号

災害用伝言ダイヤル 171 災害時は被災地への電話が繋がりにくくなります。もしもの時に備え、利用方法をご確認ください。

171 にダイヤル 録音は1 再生は2 被災地の相手方の固定電話・携帯電話・IP電話の番号をダイヤル(固定電話は市外局番から) 音声ガイダンスに従い、録音(再生)

地域のために一緒に活動しましょう 一般社団法人 大磯町シルバー人材センター 中郡大磯町虫窪7 ☎0463-70-6241

web171 災害用伝言板 インターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する『web伝言板』です。 https://www.web171.jp にアクセスまたは『web171』と検索 伝言登録する被災地の方などのインターネットへ接続できるパソコン、携帯電話、スマートフォンでご利用できます。 電話番号を入力 説明に従い、登録/確認

神奈川県 ドローン学校 ランキング1位 湘南ドローンアカデミー 連絡先 株式会社湘南ドローンアカデミー 神奈川県茅ヶ崎市宮前4-1-13 ☎0463-79-6381

お問い合わせ 大磯町政策総務部危機管理課 〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183 2026年8月発行 電話番号 0463-61-4100 (代表)

日頃からの心得・準備

●避難所や避難経路を確認しましょう この地図には、内水氾濫時に避難する場所や集合場所が表示されています。普段から自分の地区の避難所や集合場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどこを通ればいいのかを確認しておきましょう。

●家庭備蓄と非常持ち出し品の準備をしておきましょう 日頃から3日分できれば1週間分の食料・水・簡易トイレ等の家庭備蓄品を準備しておきましょう。また、懐中電灯・携帯電話などを非常持ち出し袋(リュック等)に入れ、玄関等の持ち出しやすい場所へ用意しておきましょう。

●普段から災害時要配慮者に気配りをしておきましょう 自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けてみましょう。【災害時要配慮者】高齢者・障がい者・病弱者・妊婦・乳幼児・外国人など災害発生時に的確な行動がとりにくく、支援が必要となる方

●天気予報や気象情報に気をつけましょう 梅雨期や台風シーズンなど、土砂災害・洪水・内水が起りやすい時期には、テレビ、ラジオ、新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。

●家のまわりを点検・整備しておきましょう 家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは備っていないか確認しておきましょう。

●道路の側溝や雨水ますの点検をお願いします 雨水ますの取水路が落ち葉やごみで詰まると道路冠水の原因になりますので、定期的な清掃のご協力をお願いします。

●家庭でできる浸水対策 ●家庭にある物を使った簡易浸水対策 ご家庭にある物を使って水の浸水を防ぐことができます。あくまでも水深の浅い段階での対策です。

●簡易水のうの作り方 45リットル程度の容量の容器を二重にし、中に半分程度の水を入れ中袋をひもでしばり、外袋をひもでしばります。

●意外な場所からの浸水防止 大雨時には、洗濯機や風呂場、トイレの排水口など思わぬところから下水が逆流することがあります。逆流する前に水のうでふさぎましょう。

避難行動判定フロー

大磯町土砂災害・洪水ハザードマップとあわせて確認!

平時に確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。 あなたがとるべき避難行動は?

大磯町土砂災害・洪水、内水ハザードマップで自分の家がどこにあるかを確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか? 周りと比べて低い土地である近くに崖や斜面、沢などがある 自宅に留まる

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です。 自分または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか? ※高齢者、障がい者、病弱者、妊婦、乳幼児、外国人などの方は避難に時間がかかることがあります。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいいますか? 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいいますか?

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難(日頃から相談しておきましょう) 警戒レベル3が出たら、大磯町が指定した指定避難所に避難 警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難(日頃から相談しておきましょう) 警戒レベル4が出たら、大磯町が指定した指定避難所に避難

大磯町土砂災害・洪水、内水ハザードマップは災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていない場所でも災害が起こる可能性があります。

情報収集

おおいそ防災・行政ナビ(防災アプリ) お持ちのスマートフォンで、町からの防災や災害に関する情報、生活に役立つ情報を確認できます。

登録方法 各アプリストアで、「ライブビジョン」と検索するか下記QRコードを読み込み、インストール 地域を選択してログインを選び、町内の方はお住まいの郵便番号7桁を、町外の方は「2558555」を入力

大磯町防災情報メール配信 防災情報や放送内容をメール配信しています。 QRコードを読み取るか、 @bousai.oiso-town@raidan2.ktaiwork.jp に 返送メールを送信してください。 空メールを送信してください。 URLにアクセスし登録すると、登録完了のメールが届きます。

大磯町防災生活情報X 防災生活情報Xを配信しています。 @bousai.oiso を検索しフォロー。 ホームページやメール配信と併せて、情報取得手段としてご利用ください。

大磯町防災行政無線ダイヤル 防災行政無線放送を電話で聞き直すことができます。 ☎0120-83-0150

キキクル 「キキクル」は、大雨による災害の危険が、どこで、どのレベルで起っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

「避難行動要支援者」登録のすすめ 要介護の方や重度の障がいのある方などが災害時に地域の支援を受けられるようするため、事前に個人の情報を町に登録できます。詳しくは町ホームページをご覧ください。

詳細は危機管理課へお問い合わせください。 ☎0463-61-4100(代表)

非常持ち出し品チェックリスト 準備が出来たらチェックを入れよう

携帯ラジオ 正しい情報を得るため、FMとAMの両方が聴ける携帯ラジオとその予備電池

飲料水・食料 食料は火を通さなくても食べられるものを、水はミネラルウォーターなどを、乳幼児がいる場合は粉ミルク

生活用品・衛生用品 マスク、体温計、缶切り、ティッシュ、ビニール袋、携帯トイレ、生理用品などを、乳幼児がいる場合は哺乳瓶

ライト 停電時や夜間の移動に欠かせないライトとその予備電池

救急薬品・常備薬 ばんそうこう、ガゼー、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、風邪薬、鎮痛剤、目薬、ピンセットなどを、持病のある方は常備薬

衣類 上着、下着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなどを、乳幼児がいる場合は紙おむつ

ヘルメット(防災ずきん) 屋根瓦や看板などの落下物から頭を守るためのヘルメット(防災ずきん)

現金 現金は、紙幣と硬貨の両方

証明類・通帳類・印鑑 マイナ/ナンバーカード、免許証、預金通帳、印鑑など

持ち出し袋の中身は、せっかく揃えた持ち出し品も定期的に点検しないと使い物にならない場合があります。定期的に点検を。 ラジオの電池や食料の賞味期限などを半年に一度くらいは点検しましょう。

非常持ち出し品のほか、家族全員分の「備蓄品」として飲料水(一人1日3リットル)と食料を最低3日分(可能ならば1週間分)用意しておきましょう。また、乳幼児がいる家庭では粉ミルクや離乳食を備蓄しておきましょう。